



夢・いっぱい

第11号

令和4年2月22日

2021年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

感謝

校長 原田 剛

3学期当初から始まったまん延防止等重点措置が解除されたことから、教育活動の制限が若干緩和されました。この間、学級間の交流や歌唱等感染のリスクが高い学習活動を制限していましたので、学年末に向けた様々な学校行事の準備が間に合わず、実施方法の変更を余儀なくされました。

例えば2月25日に予定されている「6年生を送る会」は、講堂に集まり、歌やメッセージで6年生への感謝の気持ちを表していましたが、今年度はプレゼントのみになりました。それでも下級生は、6年生一人ひとりに向けたプレゼントを一生懸命に作っています。丁寧な字、工夫したデザインなど、心のこもったプレゼントです。

一方の6年生は・・・

委員会活動も制限されていたため、下級生と一緒に活動しながら仕事を教えていく引き継ぎができません。そこで、委員会の仕事を紹介するビデオを作成しています。タブレットを活用し、実際に活動する様子を撮影しながら、その留意点をまとめています。新しく委員会に入ってくる4・5年生にわかりやすく伝わるといいですね。

また、「愛校活動」として、2月18日にはこれまでお世話になった校舎内の清掃活動を行いました。下級生は授業中でしたが、授業のじゃまにならないよう気をつけながら黙々と掃除をしていました。さすが、最高学年です。周囲の状況を考えながら行動できる姿にも感心しました。

進級・進学まで1ヶ月となりました。関わった年月は異なりますが、互いに感謝の気持ちをもって、充実した学校生活を送ってほしいものです。

学校だより配付方法の変更について

本号は、これまで同様に印刷物を児童に持ち帰らせるとともに、電子データを「あんしんメール」と児童タブレットで配信します。次号からは印刷物の配付を止め、電子データみの配付とさせていただきます。下校時刻が記載されたデータとなりますので、取扱にご留意ください。



丁寧な字でメッセージを書く1年生



紹介ビデオを撮影する6年生



作成したビデオの一コマ



日頃できない所も掃除しました